【表紙】

【事務連絡者氏名】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成20年12月19日

【事業年度】 第22期(自平成18年7月1日至平成19年6月30日)

【会社名】 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社

【英訳名】 Precision System Science Co., Ltd.

代表取締役社長 田島 秀二 【代表者の役職氏名】 【本店の所在の場所】 千葉県松戸市上本郷88番地 【電話番号】 (047)303-4800(代表) 取締役業務本部長 秋本 淳 【事務連絡者氏名】 【最寄りの連絡場所】 千葉県松戸市上本郷88番地

【電話番号】 (047)303-4800(代表)

取締役業務本部長 秋本 淳 【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所

(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成19年9月25日に提出いたしました第22期(自 平成18年7月1日 至 平成19年6月30日)有価証券報告書の記載事項の一部に訂正を要する箇所がありましたので、当該有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

- 第4 提出会社の状況
 - 6 コーポレート・ガバナンスの状況
 - (1) 会社の機関の内容及び内部統制システムの整備の状況等

3【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第4【提出会社の状況】

- 6【コーポレート・ガバナンスの状況】
 - (1)会社の機関の内容及び内部統制システムの整備の状況等

責任免除の内容の概要

<訂正前>

社外取締役及び社外監査役が、期待される役割を十分に発揮できるよう、当社は、会社法第426条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任について、取締役会決議によって、法令の限度において免除することができる旨を定款に定めております。なお、当該責任免除が認められるのは、責任の原因となった職務の遂行等について善意でかつ重大な過失がないときに限られます。

また、平成19年9月22日開催の当社第22回定時株主総会にて、会計監査人についても同様に責任免除できる旨を定款に 定めております。

<訂正後>

取締役(<u>取締役であった者を含む</u>)及び監査役(<u>監査役であった者を含む</u>)が、期待される役割を十分に発揮できるよう、当社は、会社法第426条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任について、取締役会決議によって、法令の限度において免除することができる旨を定款に定めております。なお、当該責任免除が認められるのは、責任の原因となった職務の遂行等について善意でかつ重大な過失がないときに限られます。

また、平成19年9月22日開催の当社第22回定時株主総会にて、会計監査人についても同様に責任免除できる旨を定款に 定めております。

中間配当

<訂正前>

<訂正後>

当社は、株主への機動的な利益還元を行うため、会社法第454条第5項の規定により、取締役会の決議によって、毎年12月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対し、中間配当を行うことができる旨を定款に定めております。

以上